

西尾青年所 市共催 初の市民討議会

まちづくりへの声まとめる

西尾市との共催で「にし西尾青年討議会2018」を初開催した一般社団法人西尾青年会議所(河合恒一理事長)は20日、参加市民からの今後のまちづくりへの意見や提言をまとめた実施報告書を中村健市長に提出した。

両者は今年6月、市民の声なき声をまちづくりに反映させ、市民参加のきっかけづくりの場とする討議会開催に関する協定を結んだ。

西尾青年会議所が10月28日に開いた地域交流イベント「つながるフェスタ」にあわせて、西尾コンベンションホールで初めて開いた。市による無作為抽出の市民2000人への参加案内送付で、希望者から抽選で選ばれた27人が参加した。

西尾になるために。市職員から現状や課題などについて説明を受けた参加者が6グループに分かれ、テーマごとにメンバーを入れ替えながら、楽しいアイデアを考え出し合った。グループでまとめた意見発表を聞いての投票もあった。

市役所であった報告書提出には西尾青年会議所の河合理事長と太田哲平専務理事、榊原裕美担当議長、渡邊純一常任理事、石川詠一郎担当委員長が出席。河合理事長は市民のまちづくりへの参加や考える機会となった討議会を西尾市ととも

「みんなて話そうニシオノミライ」と題した討議会のテーマは「もつと子育てをしやすい西尾市にするために」「もつと住みやすい

西尾市にするために」

「もつと子育てをしやすい西尾市にするために」

「もつと子育てをしやすい西尾市にするために」

市役所であった報告書提出には西尾青年会議所の河合理事長と太田哲平専務理事、榊原裕美担当議長、渡邊純一常任理事、石川詠一郎担当委員長が出席。河合理事長は市民のまちづくりへの参加や考える機会となった討議会を西尾市ととも

に初開催できたことをあげ、取りまとめた報告書を通して「西尾の明るい未来につながるっていいことを願っている」と述べた。担当者からは楽しく話し合えるような会場づくりに心がけた中で、今後のまちづくりへの前向きな意見が多く出た喜びを紹介した。

中村市長はあいさつで、初開催による試行錯誤の中での準備運営から報告書作成までの協力を感謝。参加した市民のアンケート結果からは、まちづくりへの関心が高まった状況をあげな



中村市長(右端)に要望書を手渡す西尾JCの河合理事長ら役員

参加市民の楽しいアイデア

- ①もつと子育てをしやすい西尾市にするために
- ②西尾産の素材についての詳しい説明やリーフレットを作成し「街おこし」にも寄与していく
- ③西尾市外の人も利用できるアンテナショップのようなアンテナ食堂を各地に開設。
- ④学区毎に「人材バンク」を作る
- ⑤高齢者の活用
- ⑥不登校部活動の外部講師
- ⑦児童への支援
- ⑧障害を持つ児童の保護者らへの支援など。
- ⑨子どもが外で遊べない時の室内遊び場所
- ⑩読み聞かせや様々な体験ができる場所
- ⑪子育てする親が交流する場所など。
- ⑫もつと住みやすいまち西尾になるために
- ⑬クリーンなまちづくり!!
- ⑭①クリーン大作戦
- ⑮②公共施設見学ツアー
- ⑯③街頭や防犯カメラ増やす安全な街宣言など。
- ⑰にしお抹茶スタジアムのある町「西尾」
- ⑱①市民で応援するサッカーのクラブチームづくり
- ⑲②映画館やコミュニティメント施設
- ⑲③プロスポーツの試合観戦できる場所。
- ⑳西尾デザイン化計画
- ㉑海と山、川のある市を総合的に整備しながらテーマパークをつくる。
- ㉒山・海・川大好きにしお
- ㉓①自然を活かした環境PRやテーマパークづくり
- ㉓②町のテーマカラーを決めて町全体の統一化
- ㉓③佐久島を活用したヘリコプターツアーなど。
- ㉔マイルドな田舎西尾
- ㉕①豊かな自然資産を活かした交流や体験、施設整備
- ㉕②バス専用アプリなどで公共交通機関の充実など。
- ㉖異文化交流
- ㉗①老若男女が楽しめる
- ㉗①人種のサラダボウル西尾
- ㉗②こどもの国大学構想など。